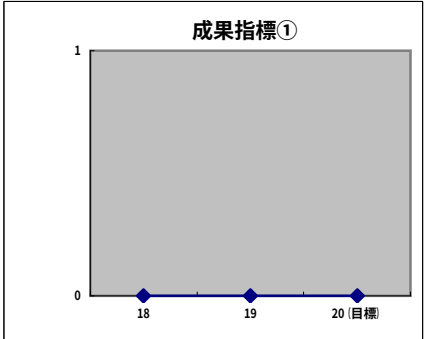
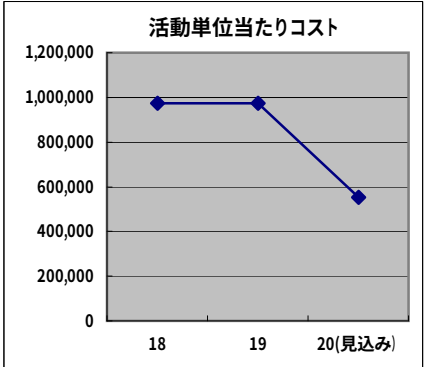


事務事業名		水道施設（配水池）安全対策事業		会計	水道会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち	款	事業費用	
	施策(節)	11	上下水道	項	営業費用	
	施策の方向	(1)	良好で安全な水の供給	目	原水及び浄水費	
	関連する計画等	羽曳野市水道整備基本計画		事業	委託料	
事業の目的		対象（誰を・何を） 配水池（5ヶ所） 意図（どういう状態にしたいのか） 配水池におけるテロ行為等を未然に防ぐことにより、水道水の安全を確保する。				
事業の内容		民間警備会社にて配水池警備を実施する。警備対象施設において、不法侵入がある場合、現場に装置された赤外線及びカメラ装置等により、警報・映像を警備会社の中央監視室が瞬時に把握し、警察への通報及び警備会社のパトロール員が現場へ急行する。				
根拠法令等		水道法、警備業法				
事業開始時期		☐ 昭和 ☒ 平成 14 年 月開始 ☐ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度				
事業開始時からの状況変化		平成13年のアメリカ同時テロを動機とするテロ対策事業の一環であり、民間警備会社に機械警備を委託することで、警備を強化している。				
市民や議会の要望						
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()				
委託先		☐ 外郭団体委託 名称		委託内容		
		☒ 民間委託		配水池（5配水池）機械警備委託業務		

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		1,512	1,512	1,461
人件費【2】 (千円)		3,360	3,360	1,304
職員数	正規職員	0.40 人	0.40 人	0.15 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.02 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費（【1】＋【2】）【A】 (千円)		4,872	4,872	2,765
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他（手数料・使用料等）(千円)			
	一般財源 (千円)	4,872	4,872	2,765
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
① 警報装置設置箇所数 箇所		5	5	5
②				
③				
活動単位当たりコスト（【A】／【B】①）		974,400 円	974,400 円	553,000 円
市民1人当たりコスト（【A】／人口）		40 円	41 円	23 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		指標設定の考え方		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	①	異常発生日数(日) (式)	テロ行為等により水道水の異常が発生した日数	目標	0	0	達成率(%)	0		
				実績	0	0	100.0%	0		
	②	(式)		目標			達成率(%)			
				実績						

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	ライフラインである水道施設を、テロ等の不法行為から守り、市民生活の安定に必要な不可欠な業務である。
	○	○		○							

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い 市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない 社会情勢の変化に対応している 他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない 国・府の事業と重複していない 事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい 緊急性が認められる	☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	市民生活の安定に必要な不可欠な業務であり、国のテロ対策方針とも合致する事業である。
	効率性	単位コストが適切である（経年、他市比較など） 受益者負担の割合は適当である 人員を削減する余地がない 事業費を削減する余地がない 簡略化できる方法や手段がない 市の他事業と重複していない 民間活力（民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど）の活用について検討の余地がない	☒ ☐ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐	本業務を委託で実施することにより、事業費の削減化を図っている。
	有効性	上位の施策（目的）が明確である 上位の施策（目的）への貢献度が高い事業である 成果を向上させる余地がない 市民の視点にたってサービスが提供されている	☒ ☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	テロ行為を未然に防止することで、水道水の安全確保に貢献している。
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している 事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている 事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	☒ ☒ ☒ ☒	
	達成度	成果指標の目標値は適正である 成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	水道水の安全性が100%確保されていた。

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	配水池における水道水の安全確保に寄与している。	
	今後に向けて（取組方針、具体的な改善改革案など） 今後も水道水の安全を確保するために本事業を継続する。	